

事業実施報告書

法人名	特定非営利活動法人彩の国キッズ&ファミリー車いすスポーツ協会
活動名	車椅子バスケットボール体験事業
助成事業の種類	SDGs推進活動助成 人間分野
事業の目的	
<ul style="list-style-type: none"> ・障がいの有無にかかわらず、誰もが一緒にスポーツを楽しめる地域づくりを目指しています。 ・車いすバスケットボールの体験を通じて、多様性への理解を自然に広げていくことを大切にしています。 ・体験をきっかけに、障がいの有無問わず地域の方が外へ出る一歩を後押しします。 ・当事者や家族、地域の方がゆるやかにつながる場をつくることを目的としています。 	
事業で取り組んだ地域や社会の課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・パラスポーツに触れる機会がまだ少ないこと ・福祉教育などの障がい理解が体験を伴わず浅くなりがちなこと ・当事者や家族が安心して交流できる場が限られていること ・埼玉県北東部では身近なパラスポーツ拠点が少なく、パラスポーツ指導員の活動場所が限られていること ・体育館中心の活動では認知が広がりにくいこと 	
取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	
<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の体験会を継続して開催していました。計7回(参加者計70人/スタッフ計35人)、 ・競技用車いすに実際に乗り、楽しく体験できる場を提供しています。 ・小中学校で福祉教育の一環として体験授業を行っています。計4回(参加者計220人/スタッフ計20人) ・白岡市商工会まつりに出展し、20家族(40人 スタッフ4人)へ活動を周知しました。 ・イベント周知用の動画を制作し、ホームページも整備しました。 	
事業実施により達成した成果の具体的な内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・車いすユーザーが外へ出るきっかけになっています。 ・ご家族同士が悩みや経験を共有できる場が生まれました。 ・学校では体験を通じた理解の深まりを感じています。 ・初参加のボランティアや学生の関わりも広がっています。 ・動画や広報により、参加への心理的ハードルが下がっています。 	

費用面での工夫
・ホームページ制作は、報告会でつながったNPO法人YOSUGA様に依頼し、経費を抑えつつ運営しやすい構成をご提案いただきました。
・既存の競技用車いすや備品は、修理や調整を行いながら大切に活用しています。
・必要最小限の購入にとどめ、無駄のない運営を心がけることで、継続性を意識した運営を行っています。
地域社会への還元
・学校での体験会を通じ、福祉教育にも貢献しています。
・商工会まつりへの出展で地域交流を深めました。
・誰もが参加できるスポーツの場を地域に提供しています。
・県東北部でパラスポーツの普及、パラスポーツ指導者の活動場所を広げています。
・NPO法人YOSUGA様への発注により、ハンデのある方の就業訓練、スキルアップにも寄与しています。
今後どのように事業を継続し発展させるか
・体験会を継続し、参加者やボランティアの輪を少しずつ広げていきます。
・学校や地域との連携を深め、活動機会を増やします。
・広報をさらに強化し、安定した参加者層を育てます。
・将来的には、助成金に頼らずとも運営できる自立した体制づくりを目指していきます。

事業収支計算書

法人名 特定非営利活動法人彩の国キッズ&ファミリー車いすスポーツ協会

1 収入の部

(単位:円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減額 C=B-A	備考
助成金	500,000	500,000	0	
自己資金	3,827	19,186	15,359	
活動実施による収入等	0	0	0	
その他	0	0	0	
収入の部 合計	503,827	519,186	15,359	

2 支出の部

(単位:円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減額 C=B-A	備考
会場費	5,600	6,620	1,020	
通信運搬費	51,480	54,490	3,010	
旅費交通費	28,000	30,000	2,000	
消耗品費	9,877	31,153	21,276	
備品費	53,190	51,372	△ 1,818	
委託費	117,680	125,551	7,871	
謝金	120,000	120,000	0	
人件費	63,000	63,000	0	
その他	55,000	37,000	△ 18,000	
支出の部 合計	503,827	519,186	15,359	